

事業所名

ヒカリノアトリエ巨勢

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R6 年

8 月

1 日

法人（事業所）理念		心地よい居場所の提供と一人一人の子どもの個性とニーズに合わせた自立支援によって、こどもの自己肯定感を育みます。								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちは、一人一人の子どもをよく見て、その子に合った支援を常に探し続けます</li> <li>・私たちは、職員間での対話、その中で得られる「気づき」を大切にし、支援に生かします</li> <li>・私たちは大人であり、また支援する側であるということだけで、子どもよりとても優位な立場にあることを自覚し、子どもの人権や人格を意識して尊重します</li> </ul>								
営業時間		9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・利用前後に「振り返りシート」の記入をすることで、その日の自分の気持ちを客観視（メタ認知）できる力を身に着けます								
	運動・感覚	・地域の公園や、市の体育館やプールでアスレチック遊具での遊び、野球、サッカー、バドミントン、水泳などのスポーツを通して楽しみながら体作りをしています								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を見据え、さまざまなツールを活用し楽しく学習ができるように一人一人に合った学びを模索しつづけます</li> <li>・生きていくために必要なライフスキル「買物」「調理」「健康管理」「公共交通機関の利用方法」「ネットリテラシー」などを獲得できるような活動を日々積み重ねています</li> </ul>								
	言語 コミュニケーション	・活動中のちょっとした会話の中や、少人数でボードゲームやカードゲームなどをする中で、適切な言葉づかいや相手を思いやる言葉に気づくような声かけをして支援します								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士のけんか等のトラブルは相手の気持ちを推し量るチャンスと捉えて、自分たちで問題解決ができるようになるまで援助します</li> <li>・活動の中で公共交通機関や公共の場を積極的に活用し、地域の方々とのふれあいの中で社会性を身に着けることができるよう支援します</li> </ul>								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭でのお困りごとのご相談に応じ、共に解決策を考えます</li> <li>・不登校の保護者のお悩みを共有する座談会を定期的に開催しています</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様の了承のもと、小中学校に放デイの利用の様子の記録をお送りして、支援の方向性を同一にするよう努めています</li> </ul>			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公園や公民館、市立体育館や図書館などを活用し、地域の人たちと触れ合う機会を作っています</li> <li>・イベント等に参加し、不登校児童の理解を促進する啓発活動を行っています</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回グループ事業所合同の職員研修で事例検討会を行い、よりよい支援を目指して職員間で意見交換しています</li> <li>・職員にはスキルアップ研修の自主的な参加を奨励しています</li> </ul>			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回秋から春にかけて「海釣り」を企画</li> <li>・年2回のマルシェで歌などを一般の方々の前で披露</li> <li>・年1回小学5年生以上から「宿泊体験」</li> <li>・「夕涼み会」</li> <li>・月1回（土曜日）県内外の施設（海、フルーツ狩り、水族館など）へのお出かけ</li> </ul>								